

大会規定

- 1 試合は、トーナメント方式とし、1ゲーム6イニングとする。
但し、3回以降10点差、4回以降7点差でワールドゲームとする。
- 2 試合開始後1時間20分を経過すると、以後新しい回には入らない。
同点の場合は、抽選で勝敗を決める。
- 3 降雨による試合の成立、不成立は、4回の表裏が終了した時点で成立する。
但し、4回表の攻撃を終えた時点で、後攻側チームがリードしている場合は成立し、
その他の場合は再試合とする。(再試合の日時、会場は後日主催者から連絡)とする。
また、降雨中断後の再開、中止の決定は当該試合の審判団がこれを決定するものとする。
- 4 シートノックは無し。
- 5 試合開始予定時刻にかかわらず、前の試合が早く終了した場合は
次の試合を開始する事がある。
- 6 天候不順による当日の大会開催については、各当日の午前7時を目安に
主催者より担当者へ連絡いたします。

* 投球数はカウントしません。

- 7 試合中の言動は少年らしく、応援団も節度ある言動、態度を遵守する。
- 8 審判の判定には無条件で従うことを原則とする。
但し、ルールの適用については監督のみが質問することができる。
- 9 メンバー表は3部(相手、審判、本部)提出してください。
- 10 出場の選手は6年生以下、11名以上で構成する。
- 11 2回以降の投球練習は原則として3球とする。(1回と投手交代の時は7球)
- 12 攻守交代は、全力疾走し、回しボールは禁止する。

罰則規定

- 17 変化球は使用してはならない。
変化球に対してのペナルティは、全日本軟式野球連盟規則を準用し、これを適用する。
但し、投球が自然に変化した場合を除く。
意識して「手をひねる」投げた変化球か、投球が自然に「手をひねらない」変化したかは、
いつに審判員の判断による。

<ペナルティー>

- (1) 変化球に対して「ボール」を宣告するとともに、投手に変化球を投げないように注意する。
- (2) 注意したにもかかわらず、同一投手が同一試合で再び変化球を投げた場合は
「ボール」を宣告するとともに、その投手を交代させる。
- (3) 変化球が投げられ、プレイが続けられたとき、打者が一塁でアウトになるか、
走者が次塁に達するまでにアウトになった場合は、そのプレイを無効とし、
打者にボールが加算される。この場合あ、状態によっては攻撃側の監督の申し出が
あれば、プレイはそのまま有効とする。但し、打者が安打、失策、四死球、その他で
一塁に生きた場合は、変化球とは関係なくプレイはそのまま続けられる。